

# 我が国のODA政策と対フィリピン協力

複合的危機下での重要国への戦略的対応

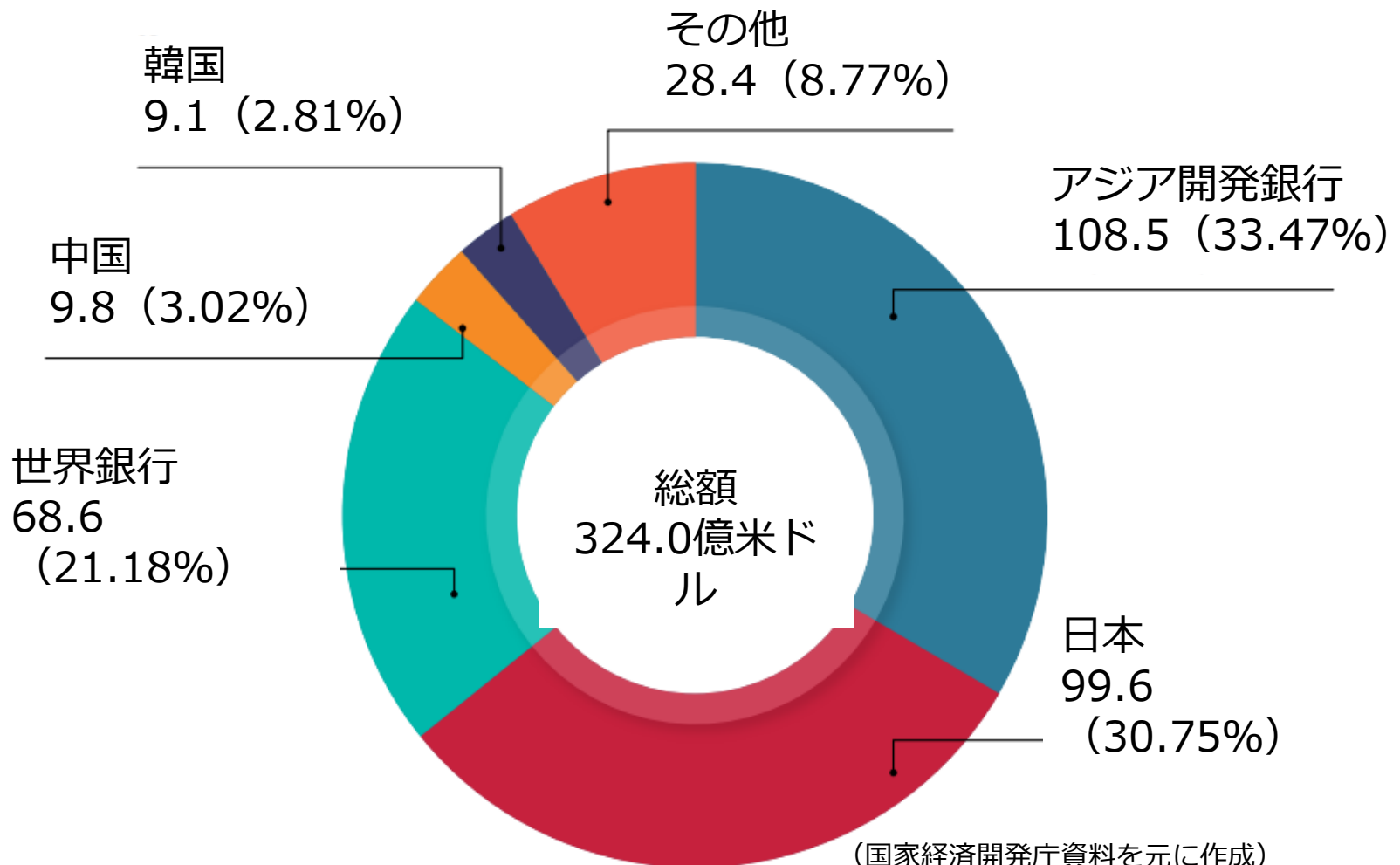
国際協力機構

田中明彦

2024年1月10日

# フィリピンへの協力の実績

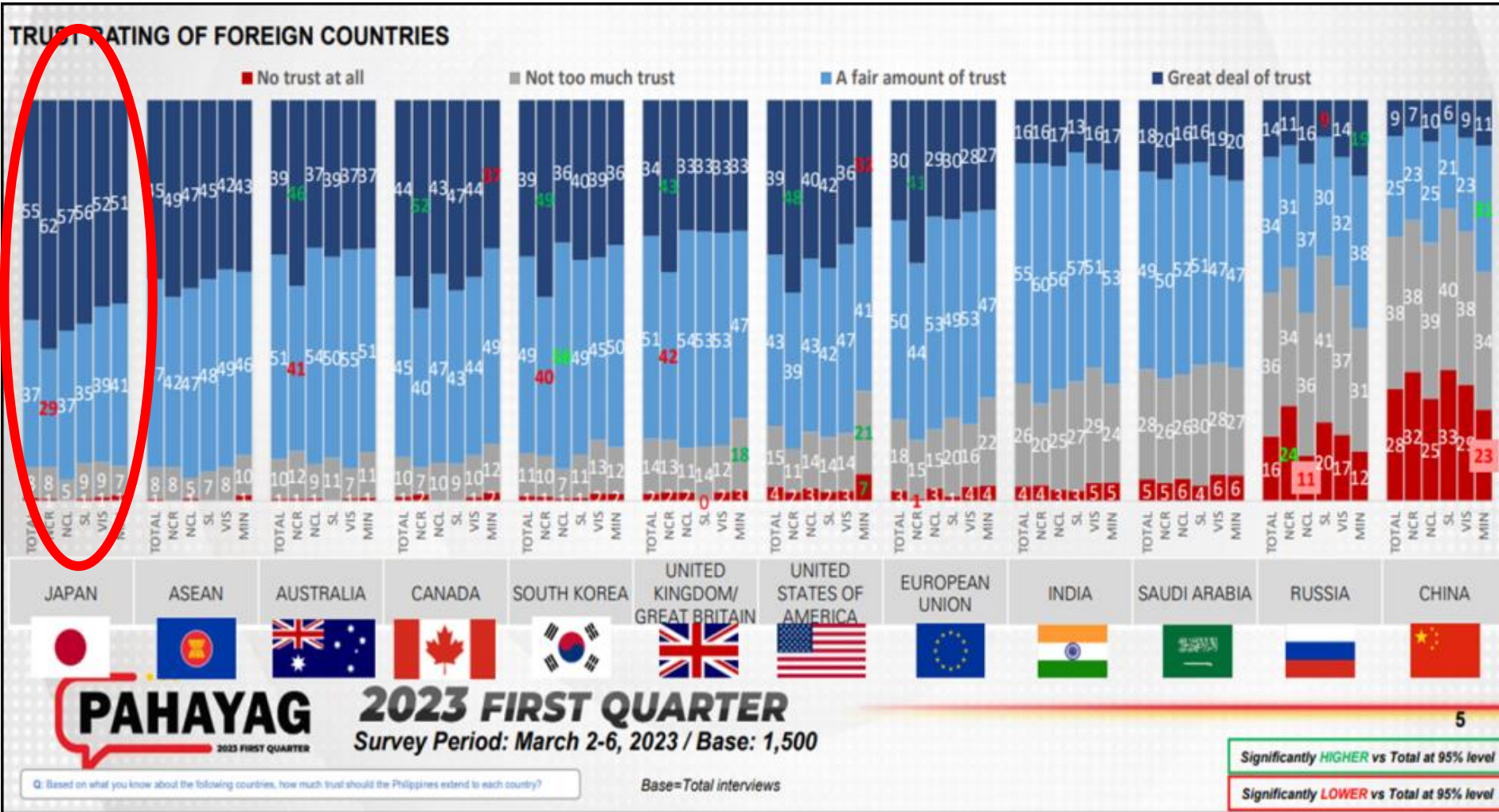
## 開発パートナー別のODA（億米ドル、2022年時点）



(国家経済開発庁資料を元に作成)  
(2022年時点実施中案件、コミットメント額ベース)

# 日本への信頼

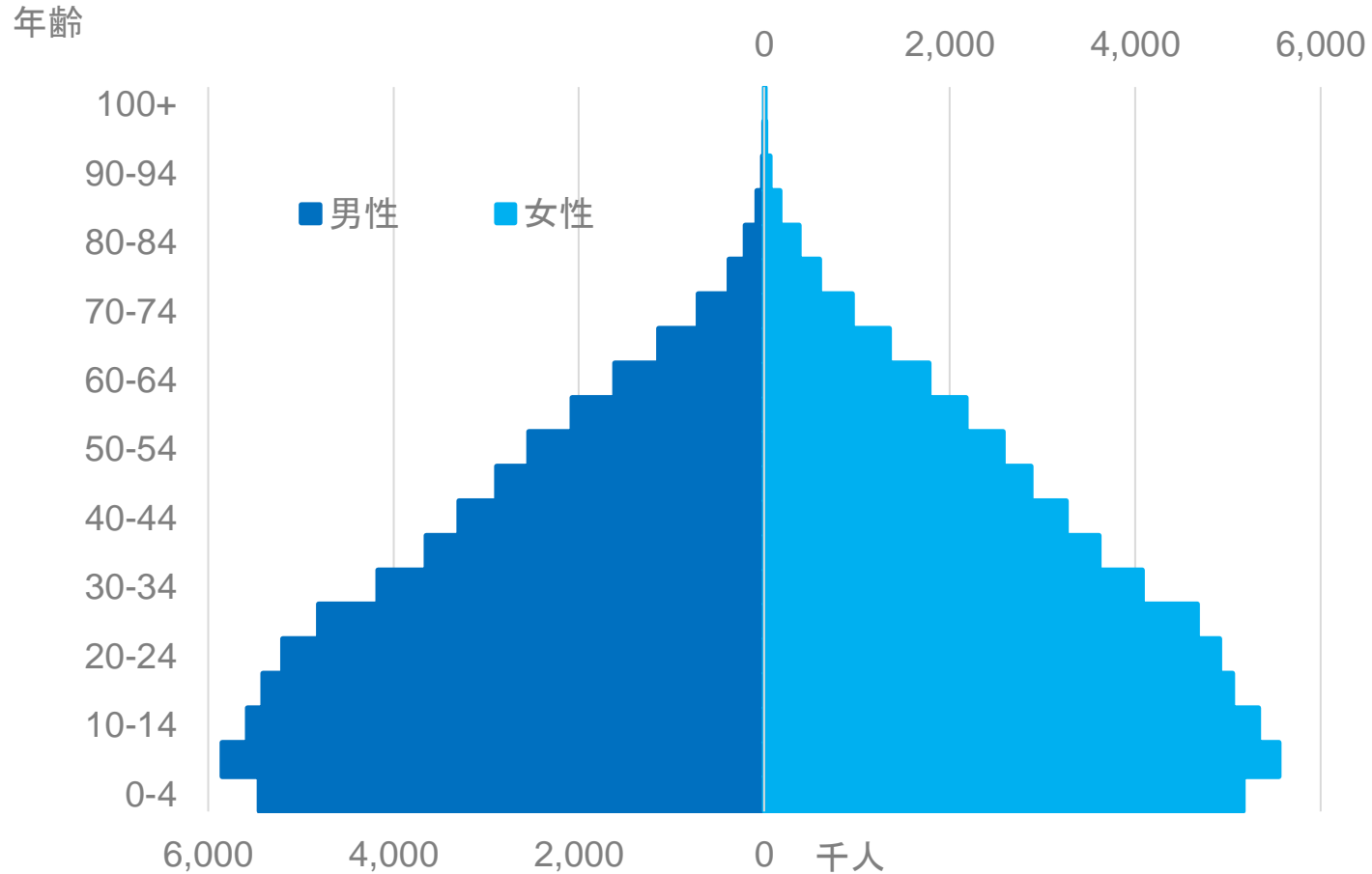
世論調査による各国への信頼度（横軸はフィリピンの地域）



(出典：Publicus Asia (2023年8月))

# フィリピンの経済動向

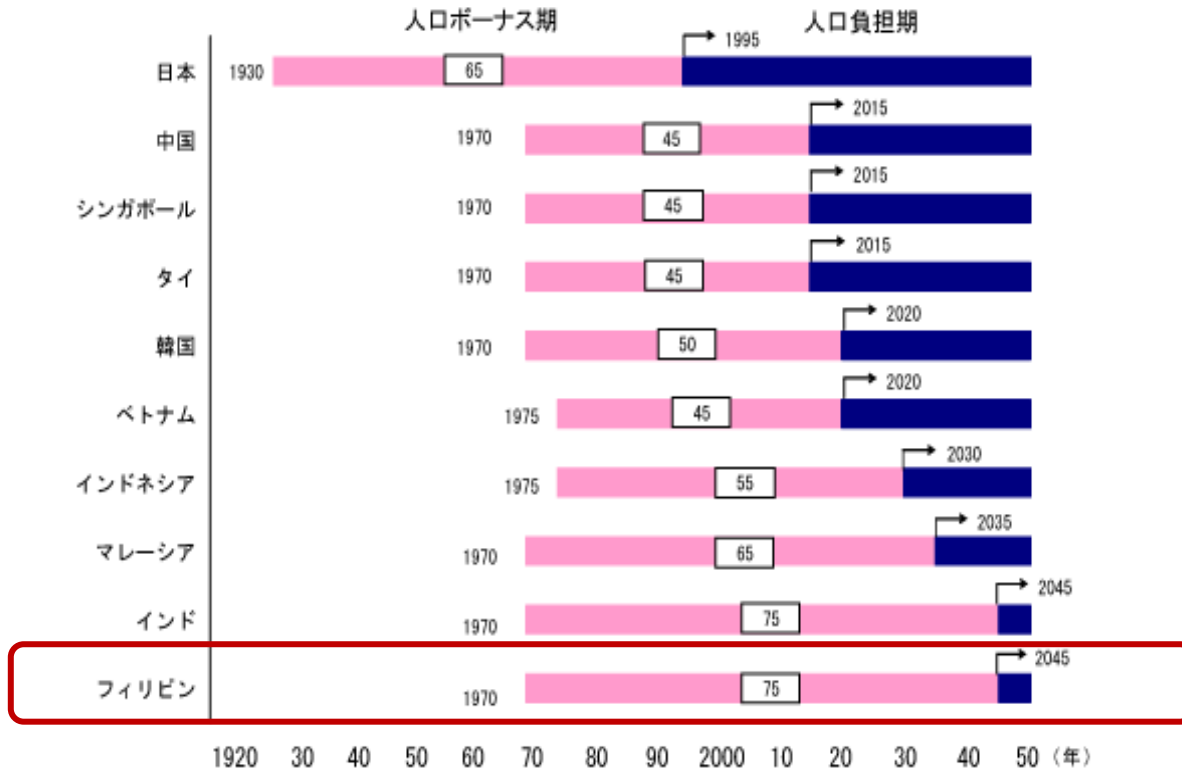
## 人口構成



(出典 : UN)

# フィリピンの経済動向

## 各国人口ボーナス期比較



(出典：内閣府政策統括官室（経済財務分析担当）「世界経済の潮流（2010 I）」)

- GDP成長率が高水準で推移  
(28年まで6.5~8%を目標)
- 25年か26年には中進国入り

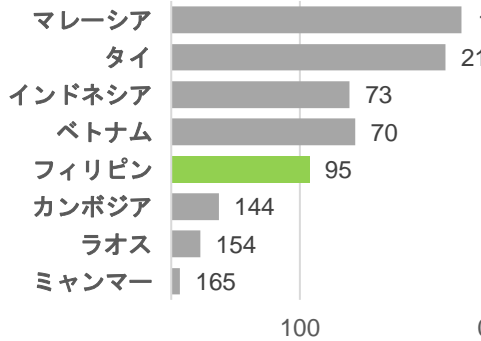


- 公的債務/GDP比率 ↓
- 失業率・貧困率 ↓
- 信用格付 BBB+ ↓

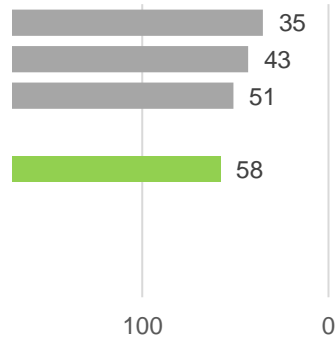
# フィリピンの特徴と開発機会

## 1 投資環境・インフラの脆弱性

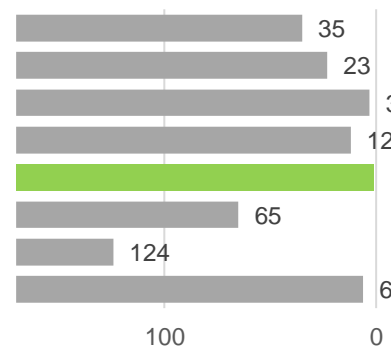
Doing Business



インフラ競争力



World Risk Index



## 2 自然災害リスク

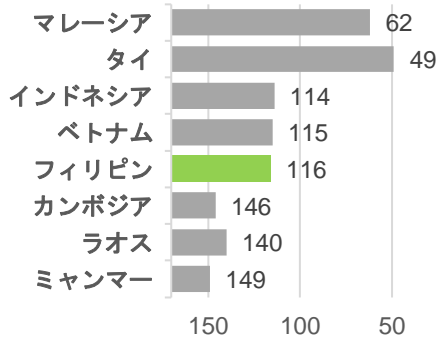
## 4 南シナ海の脅威



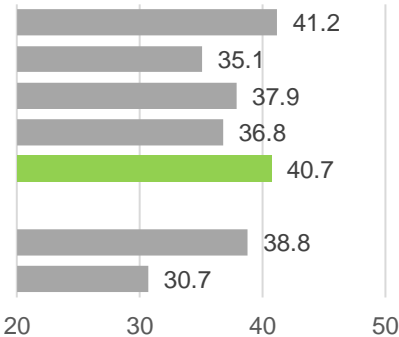
出典：JICA (写真はイメージ)

## 3 国内格差

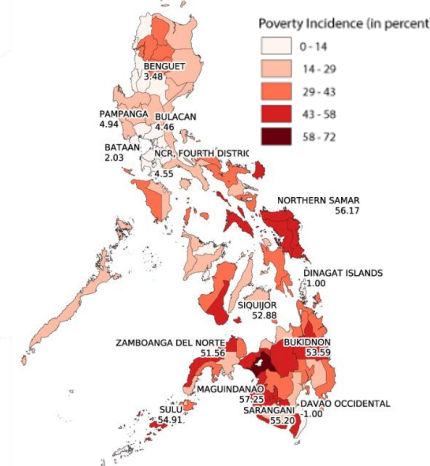
人間開発指数



Gini係数



## 5 ミンダナオ和平



出典：JICA

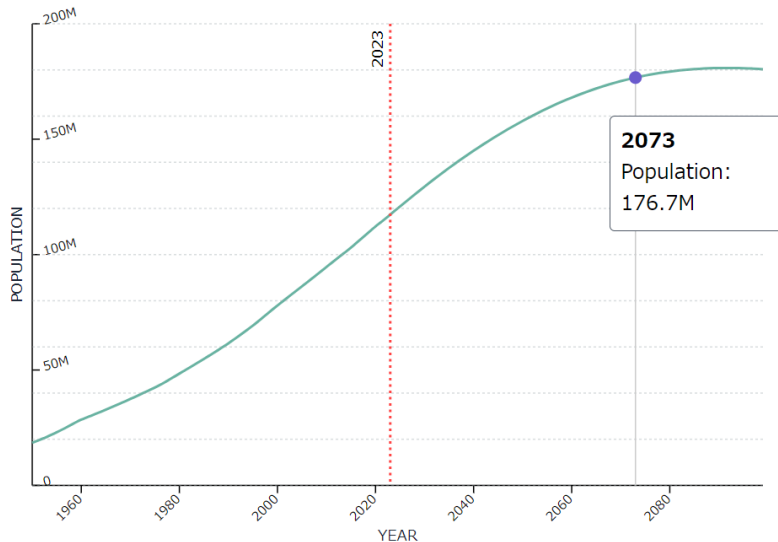
\* Gini係数以外の指標はランキングを示したものの。World Risk Indexはリスクの高さを示し比国は世界で最もリスクが高い。  
 (出典：Ease of Doing Business 2020 (World Bank)、The World Competitiveness Ranking 2023(IMD)、The World Risk Index 2022 (IFHV/RUB)、Human Development Index (UNDP)、Gini Index (World Bank) )

# フィリピンの特徴と開発機会

6

## 人口の増加

- 今後50年で人口は5割増加  
(機会であると同時に不安定要因)



(出典: [Philippines Population 2023 \(Live\)](https://www.worldpopulationreview.com/countries/philippines-population-2023)  
([worldpopulationreview.com](https://www.worldpopulationreview.com)) )

7

## 政治的・経済的資本の偏在

- 政治
  - ・ 有力一族による世襲
- 経済
  - ・ 大財閥の存在
  - ・ 大土地所有者の存在
  - ・ 労働者送金が重要な外貨取得源

近年の高成長を土台に、中長期的に安定した社会をどう構築するか  
増加する人口のウェルビーイング確保に向け、雇用の創出が重要

# フィリピンへの協力意義

➤ 高成長を土台に、信頼される中進国への変貌を後押し

## 1. 人口ボーナスへの対応

- 貧困削減・ウェルビーイングの向上
- 雇用の創出

## 2. 安心・安全・快適な社会の構築

- 国内の潜在力を発揮するための環境整備
- 更なる機会を生む好循環の構築



# フィリピンへの協力意義

## ➤ 「友情」の深化・強化に向けた更なる信頼構築

### 1. 「戦略的パートナーシップ」

- 基本的価値、戦略的利益を共有

### 2. 地政学的重要性

- 自由で開かれたインド太平洋（FOIP）推進のパートナー

### 3. 日本との関係

- 豊富な労働力と将来性の高い市場
- 親日国
- 長年の協力による信頼のアセット

# 対フィリピン支援の3本柱

## 重点分野

## 開発課題

### 質の高い成長

- 質の高いインフラ整備
- 産業振興・行政能力向上
- 農業

他

### 人間の安全保障

- 気候変動対策・防災
- 法執行能力強化
- 人間・社会開発

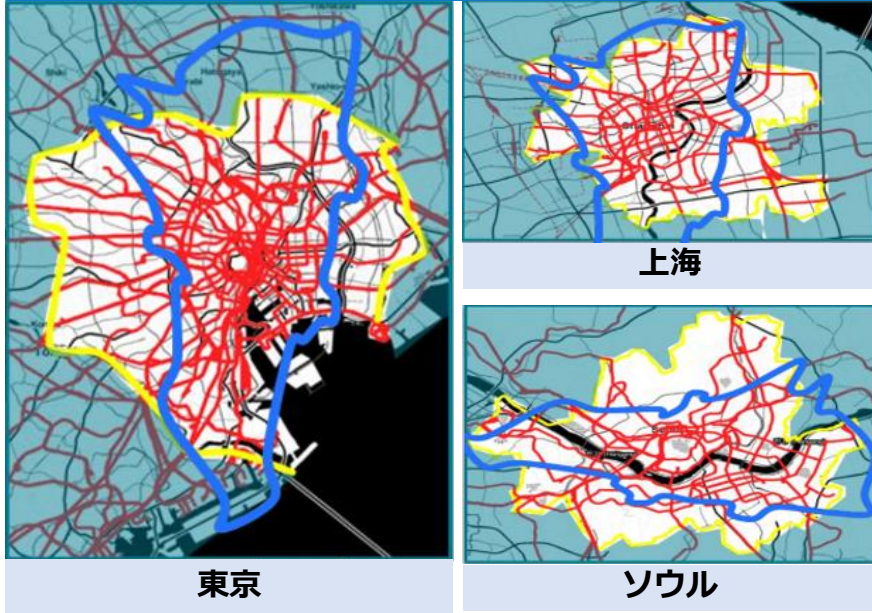
他

### ミンダナオ和平

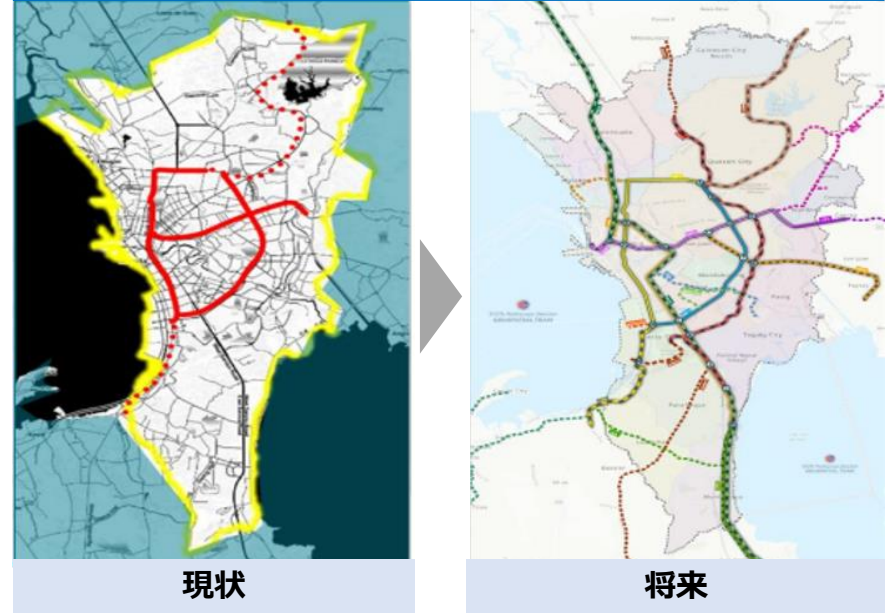
- ミンダナオ和平・安定と開発・発展

# 運輸インフラの整備

## アジア諸国における鉄道整備状況



## マニラにおける鉄道整備状況



都市名	面積 (sq.km.)	人口 (百万)	鉄道総延長 (km)
東京	620	9	700
マニラ (東京を1とした場合の比率)	620 (1)	12 (1.3倍)	85 (1/8倍)



鉄道インフラ整備



鉄道運営人材の育成

# 運輸インフラの整備

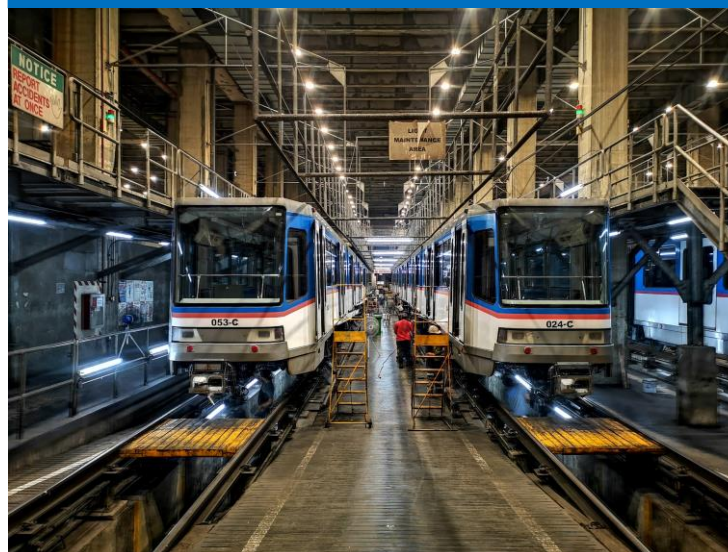
南北通勤鉄道 建設中の駅の様子



南北通勤鉄道 通勤車両



MRT3号線 車両メンテナンスの様子





# 防災投資への取組

河川改修を行ったパッシング・マリキナ川



洪水予警報システムの強化



災害リスクに対する公的保険制度の強化

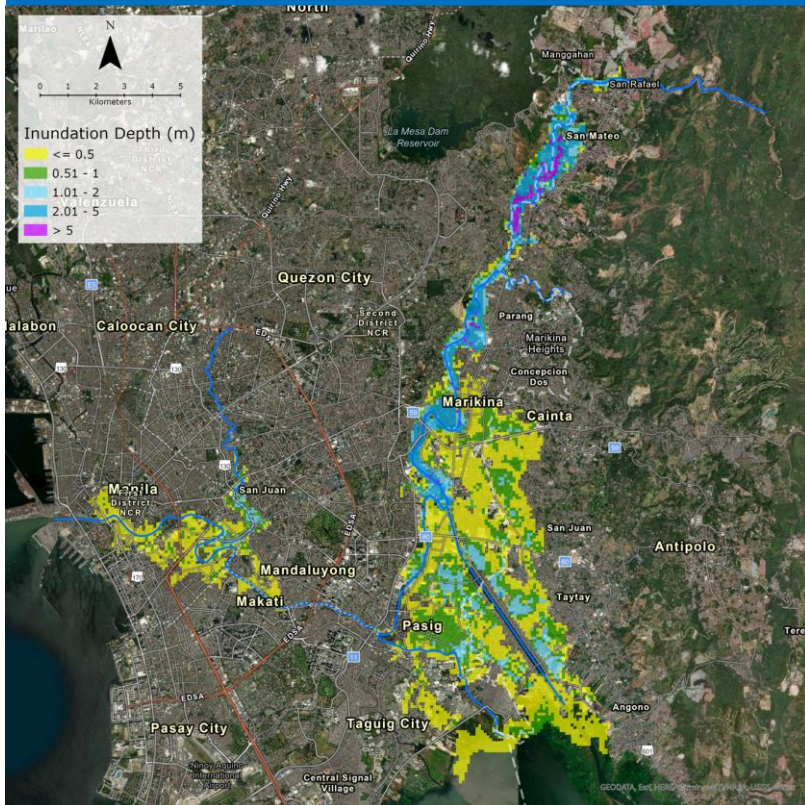




# 防災投資への取組

## ● 2020年ユリシーズ台風

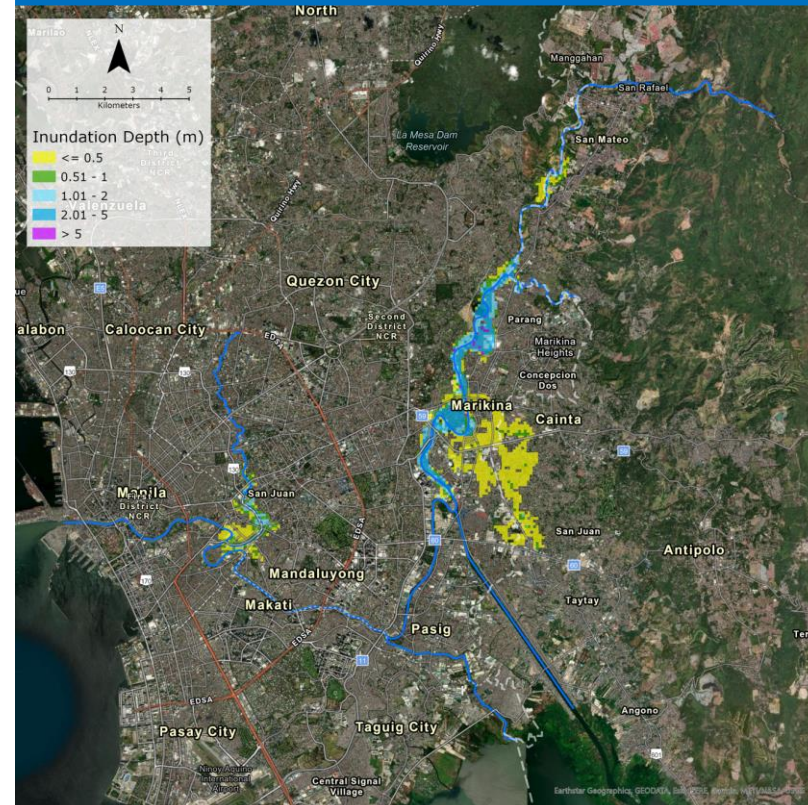
### 事業なしの場合の想定浸水域



想定被害額……………**13億ドル**

想定被災人数……………**100万人**

### 事業効果を踏まえた想定浸水域



推計被害額……………**2億ドル**

推計被災人数……………**3万人**



# フィリピン沿岸警備隊への協力

日本が供与した44m艇（写真奥）が訓練に活用される様子



マニラ港に到着した97m艇



海上保安政策プログラムとの連携



油流出事故における回収事業



# ミンダナオの平和・安定、開発・発展支援

## JICAのミンダナオ支援の3本柱

- ガバナンス支援
- 公共サービス・コミュニティ開発支援
- 経済開発支援

### 元戦闘員を含むコミュニティへの営農支援



### バンサモロ暫定自治政府の予算策定プロセス支援



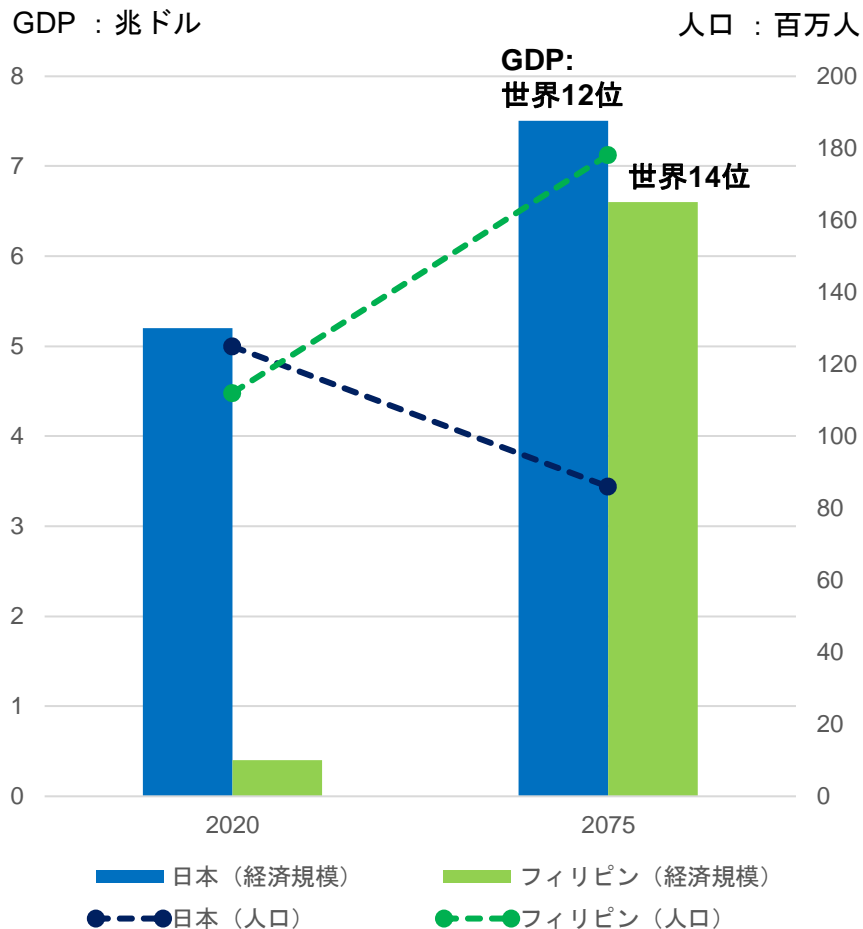
### 紛争影響地域での復興支援で修復された道路





# 今後の協力の方向性

## 今後のフィリピンは更に重要なパートナー



出典 : Goldman Sachs、UNのデータを元にJICAにて作成

- **フィリピンの安定⇒日本の安定**
- **人間の安全保障を確保、個々人のウェルビーイングを実現できる協力**
  - インフラ、O&Mの支援
  - 投資環境・民間投資の側面支援
  - 気候変動対策（適応・緩和）
  - FOIP（ミンダナオ、海上保安）
  - 人材育成、人材交流      等
- **中進国入り後のニーズ対応**
  - 民間との連携（一部分野（エネルギー、情報通信、運輸等）は民間主導）
  - ナレッジ支援
  - 非タイド借款、海外投融資、技協等の活用

# 【ご参考】STEP条件（本邦技術活用条件）

項目	内容
制度趣旨	我が国の優れた技術やノウハウを活用し、途上国への技術移転を通じて我が国の「顔が見える援助」の促進
対象国	OECDルール上タイド借款が供与可能な国（LDCは適用対象外）
供与条件	金利：0.3%、償還期間：40年、うち据置期間：10年 （* 2023年10月1日時点。変動の可能性あり。）
主契約者条件	本邦企業（含む海外子会社）、本邦企業と借入国企業のJV（本邦企業がリードパートナー）、本邦企業と本邦企業の関連会社（一定の条件下）
本邦調達比率	融資対象の本体契約総額の30%以上は「日本原産」 （日本原産の資機材（一定の条件下で主要な部材）及びサービス）
対象分野	橋梁・トンネル、幹線道路・ダム、港湾、空港、都市交通システム、通信・放送・公的情報システム、発電・送配電、石油・ガス輸送貯蔵施設、都市洪水対策事業、環境対策事業、医療機器、防災システム・防災機器

運用ルール：[https://www.jica.go.jp/activities/schemes/finance\\_co/about/ku57pq00001bs41s-att/rule.pdf](https://www.jica.go.jp/activities/schemes/finance_co/about/ku57pq00001bs41s-att/rule.pdf)